

## 「伊達男のこだわり きせる・たばこ盆・たばこ入れに見る職人の技」

たばこと塩の博物館（東京・墨田区）で

2016年11月19日（土）～2017年1月9日（月・祝）開催！

喫煙具にこめられた職人の技の数々を、江戸から昭和初期にかけての資料150点以上で紹介

たばこと塩の博物館では、2016年11月19日（土）から2017年1月9日（月・祝）まで、「伊達男のこだわり きせる・たばこ盆・たばこ入れに見る職人の技」を開催します。16世紀末頃に日本に伝来したとされるたばこは、髪の毛ほどの細さに刻み、きせるで喫煙するという独自のスタイルで定着して、紙巻たばこへと主軸が移る昭和初期まで続きました。

きせるでの喫煙が広まるのにあわせて、たばこ盆やたばこ入れといった喫煙具も生み出され、持ち主のこだわりを反映するようになっていきました。人々はこぞって珍しい素材を用い、金工や漆芸をはじめとした装飾を施しました。そこには、様々な分野の職人たちの巧みな技を見ることができます。さらに、江戸から明治へと移りゆく時代の中で、廃刀令により日用品への転向を余儀なくされた刀装の職人たちの技術が喫煙具にも応用され、優品が生み出されていきます。

伊達政宗愛用のきせるから始まる本展では、喫煙具を制作した職人や、持ち物としての喫煙具にこだわった歌舞伎役者や噺家など「伊達男」たちのエピソードを交えながら、きせる、たばこ盆、たばこ入れを中心に、刀装具なども合わせて150点以上の資料を展示します。細部にまでこだわりを見せつつ、実用も兼ね備えた「用」と「美」の世界をご覧ください。



葛蒲革腰差したばこ入れ

八代目桂文楽コレクションとして当館が所蔵するこのたばこ入れは、文楽以前には五代目清元延寿太夫が所蔵していた。清元の名人にも落語の名人にも愛された伊達な1点。

Photo. 01

【展示の見どころと作品紹介】→ 別紙1へ

【展示関連イベント】→ 別紙2へ

## 「伊達男のこだわり きせる・たばこ盆・たばこ入れに見る職人の技」開催概要

名称 伊達男（だておとこ）のこだわり きせる・たばこ盆・たばこ入れに見る職人の技

会期 2016年11月19日（土）～2017年1月9日（月・祝）

会場 たばこと塩の博物館 2階特別展示室

住所 東京都墨田区横川 1-16-3（とうきょうスカイツリー駅から徒歩8分）

電話 03-3622-8801 FAX 03-3622-8807 URL <https://www.jti.co.jp/Culture/museum/>

入館料 大人・大学生 100円（50円）

満65才以上の方（要証明書）と小・中・高校生 50円（20円） \*（ ）内は20名以上の団体料金

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

休館日 月曜日、12月29日（木）～1月3日（火）

お問い合わせ先：たばこと塩の博物館 広報担当：褓地（ほろち）由美子 E-mail: [horochi@tsmuseum.jp](mailto:horochi@tsmuseum.jp)



「伊達男のこだわり」展では、「きせる」「たばこ盆」「たばこ入れ」などの喫煙具を、「金工」「漆芸」などの装飾に注目しつつ、制作した職人、使用した持ち主などのエピソードなどを絡めて展示します。ここでは、そのほんの一部を紹介します。

## きせる

装身具としての機能も果たしたきせるには、見事な彫りが施されたものが多く見られ、特に明治時代に制作されたきせるには、1875年の廃刀令によって転向を迫られた刀装金工の精緻な技が見られるものも多くあります。展示では職人の技が光るきせるを紹介します。

名工といわれた加納夏雄が手がけたきせるを刀装具と合わせて紹介します！



Photo. 02

若松に福寿草きせる  
1893年（明治26）



Photo. 03  
（部分拡大）

Photo. 04  
（表面）



Photo. 05  
（表面）



馬図小柄

1860年（万延元）（個人蔵）

**Point ▶** 廃刀令以前、夏雄が手がけたこの小柄（こづか）の表面には馬が、裏面には、左のきせるにも彫られた若松と福寿草がみられます。展示では両作品を鑑賞することができます。



Photo. 06  
（表面）



Photo. 07  
（裏面）

枝菊図罌

銘：なつを刻

1881年（明治14）（個人蔵）

※罌（はばき）とは、鞘を守り、刀身が抜け落ちないようにする刀装具。

**Point ▶** 刀装具のなかでも、名工・加納夏雄が手がけた罌で現在確認できるのは、今回展示するこの1点を含めて世界で3点のみとされています。

本展のタイトルにもなっている「伊達男」の代名詞・伊達政宗が使用していたきせる（副葬品）ときせる箱を展示します！

Photo. 08



伊達政宗墓所出土品 きせる

仙台市指定文化財（仙台市博物館蔵）

Photo. 09



梨子地きせる箱（仙台市博物館蔵）

## たばこ盆

調度品としての役割も担っていたたばこ盆には、美しい蒔絵が施されたものも多くあります。展示では、漆芸の大家として知られる柴田是真が手がけたたばこ盆、素材の組み合わせに趣向を凝らしたたばこ盆などを紹介します。



Photo. 10

武蔵野蒔絵手付きたばこ盆  
柴田是真



Photo. 11

縞柿舟形提げたばこ盆

**Point** ▶ 舟形のたばこ盆の表面は木目を波に見立てるように仕上げられています。銀細工の波しぶきがあたり、提手は鯨のヒゲ製で、様々な素材の取り合わせの妙を味わえます。本展ではほかにも、蒔絵で彩られたたばこ盆など多数展示します。

## たばこ入れ

きせる筒、袋、根付などで構成されるたばこ入れは、彫刻や金工など、それぞれに職人の技をみることができます。また、素材や組み合わせの妙も楽しむことができます。本展では、様々なたばこ入れを展示します。



Photo. 12

金唐革腰差したばこ入れ



Photo. 13

菖蒲草差し根付たばこ入れ（個人蔵）

菖蒲の文様を染め抜いた菖蒲草の袋には、河童の根付が合われています。河童のからだは鹿角、髪の毛は鹿の毛という凝ったつくりの根付は、尾崎谷斎（尾崎紅葉の父）によるものです。



Photo. 14

更紗腰差したばこ入れ（八代目桂文楽コレクション）

**Point** ▶ 100点以上のたばこ入れを所蔵していた八代目桂文楽。落語家になる前は、袋物屋に奉公していたこともあり、コレクションは名品ぞろいでした。本展では、たばこ入れと合わせ、コレクションを収納するために文楽が詠えた簞笥も展示します。

画像データの用意がございます。ご掲載いただけるようでしたら、画像の番号を広報担当までご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

広報担当：裊地（ほろち） TEL 03-3622-8801 E-mail: [horochi@tsmuseum.jp](mailto:horochi@tsmuseum.jp)



**【浮世絵のミニワークショップ】 定員：各回40名 当日整理券制**

2016 年 11 月 23 日（水・祝） 11:00～、14:00～（各回とも 60 分程度）

※彫師の彫りを見学し、版木を摺ってみる体験イベントです。

摺りは 1 色のみ。摺った版画は記念にお持ち帰りいただけます。

会場：1 階ワークショップルーム

協力：（公財）アダチ伝統木版画技術保存財団

※参加費無料（ただし、入館料は必要です）。

※各回分とも当日開館時より、整理券を 1 名につき 2 枚まで配布します。

（入館料は整理券配布時に枚数分お支払いいただきます。）

**【展示関連講演会】 定員：90名 当日整理券制**

2016 年 11 月 27 日（日）

「現代の伝統彫金」

講師：桂盛仁（重要無形文化財＜彫金＞保持者・人間国宝）

2017 年 1 月 7 日（土）

「伊達政宗ってどんなひと？ ―その生涯と足跡」

講師：佐々木徹（仙台市博物館学芸員）

**【たばしお寄席】 定員：90 名 当日整理券制**

2016 年 12 月 11 日（日）

「中村仲蔵」

口演：五街道雲助（噺家） / 解説：新藤茂（国際浮世絵学会常任理事）

※展示関連講演会、たばしお寄席は、いずれも午後 2 時から、3 階視聴覚ホールで開催。

※参加費無料（ただし、入館料は必要です）。

※いずれも当日開館時より、整理券を 1 名につき 2 枚まで配布します。

（入館料は整理券配布時に枚数分お支払いいただきます。）